

広島市・安佐南区

に当たり前のように生息する
ごくごく身近な生き物たちを通じ

グローバルな課題や 平和・人権について考える 世界初の研究成果

【担当】

国際学部 教授 吉田 晴彦

専門は国際関係論、国際協力論、平和研究

身近な生き物と 国際関係

野草・昆虫・野鳥をみれば
世界がわかる!!

広島市立大学 国際学部

吉田 晴彦

©YOSHIDA, Haruhiko 2022



普段目にできる生活圏に存在しながらも、邪魔者扱いされたり、あるいは気に留められずらされなかったりする、ごく身近な生き物たち。

しかし、実はそれらを見つめなおす「まなざし」にこそ、現代国際社会を理解し、その課題を解決するための鍵が隠されています。

本書では、誰もが目にすることのできる身近な野草、昆虫、野鳥の紹介を通じ、「国際社会を見る眼」の養い方をわかりやすく解説します。

国際政治学や平和研究などの社会科学に加え、生物学、分類学など自然科学の研究成果も取り入れた、文理融合型研究です。

・ 本書に登場する写真は全て筆者自身による撮影。

・ 撮影は筆者の通勤路および広島市立大学キャンパスで行いました。

※原爆ドームの写真を除く

・ 高精細カラー写真を多用するため、当面電子書籍のみでの提供となります。

※スマホでもご覧いただけますが、タブレット以上の画面を推奨します
amazon kindle版のみ

ペータ版は300円+税で11月に発刊予定。

その後、正式版を500円+税で2023年3月発刊予定。

※ペータ版を購入し、感想や御意見を下さった方には、正規版を無償で提供。

※以後、シリーズ化して研究成果の継続的発表を予定。

本書の執筆に当たっては、広島市の運営する
広島市植物公園、広島市森林公園こんちゅう館、安佐動物公園
の専門家の方々、および撮影場所を提供くださった一般市民の方々の協力・助言を頂きました。